

日本型ビジネスモデル事例研究セミナー 進行表 第1回(6月) 6回シリーズ

・日時 : 2012年6月28日 午後6時~8時
 ・場所 : ちよだプラットフォームスクウェア 5階会議室(500)
 ・講師 : 阿部 義通(株式会社ヨシフロンティア)
 ・事務局 : 高瀬 浩之(ファシリテータ)

・ビデオで撮影し、編集して動画にする
 ・オンラインコミュニティ準備

時間	項目	詳細	講師	参加者	準備するもの
18:00	開始 今日の流れを説明				
18:10 10分間	①なぜビジネスモデルを気にする必要があるのか	講師から10の理由を説明	説明 ・事例 アップルとマイクロソフト 富士フィルムとコダック	発言とすり合わせ	①模造紙 ②理由を書いたポストイット ③予備のポストイット
18:20 15分間	②ビジネスモデル キャンパスの使い方	講師からビジネスモデル・ジェネレーションについて紹介 またカスタマイズの理由を説明	説明 (資料) ・BMGオリジナル ・阿部カスタマイズ	自分がつくりたい BMテーマ 3つ迄 書いてもらう	①本(BMG)の紹介 ②参加者分枚数 (オリジナルとカスタマイズ分)
18:35 15分間	③ビジネスモデルの違い(欧米型と日本型)	日本型価値観、イノベーションの方法の違いが ビジネスモデル設計の違いとなってくる	説明 (資料) 比較表	発言	①参加者分枚数 →比較内容をセミナーを通じて 追加していく
18:50 30分間	④富山藩の「置き業」のビジネスモデル 先用後利	日本型の優れたモデルは普遍的・世界的な広がりを持つ を事例を挙げて講師が説明	説明 (資料) パワポ	発言	①参加者分
19:20 20分間	⑤キャンパスに貼り込み	講師が貼り込みのやり方を説明 途中迄一緒に手伝いながら作業する		参加者3~4人 一組で貼り込み作業	①富山藩 模造紙 ②ポスト・イット
19:40 10分間	⑥ストーリーをつくる	講師がなぜストーリーが必要なのか説明する	説明 (資料) BM用ストーリー の作り方 事例 2本		①図解資料 ②実例コピー
19:50 10分間	⑦第1回目のまとめ	自分でつくるためには ・実作用テーマの設定 ・先人の作り方参照 ・設計書に基づき作成 ・コーチングを受ける ・プロデュース開始			
20:00	次回のお知らせ 終了				